



miniature sweets campus | フルーツ

一粒苺の作り方

〈成形〉円錐形にして目打ちで種を入れる。

〈着色〉いちごシロップをスポンジで重ねてグラデーション。

〈へタ〉緑の粘土で5枚の葉をつける。

◎ 用意するもの

粘土

樹脂粘土 / 実：スケールG+E 樹脂粘土 / ヘタ：スケールF

絵の具・塗料

- ホワイト
- イエローオーカー
- タミヤ いちごシロップ
- ブルシャンプルーヒュー
- 松葉色
- ディープグリーン
- ローアンバー

道具

スケール・爪楊枝・目打ち
クリアファイル / お尻を平らに・葉を潰す (3×3cm)
メイク用スポンジ・紙 / 着色 筆 / シロップ用・ニス用
ハサミ・スポンジ (乾燥用)

仕上げ・その他

タミヤ溶剤 / シロップが固くなったとき
ツヤありニス / ウルトラパーニッシュ スーパーグロス
木工用ボンド・ラップ いちごの写真 / 見ながら作る

PART 1 | 成形

1 粘土を計量して着色する

- 1 樹脂粘土をスケールG+Eで1つ計量する
- 2 ホワイトを爪楊枝で少し入れる
いちごは透け感のないマットなフルーツなので白を入れます。
- 3 イエローオーカーを爪楊枝の先に少しだけ入れ、ほんのり黄色にする
つけすぎると濃い黄色になるので少量に。
- 4 乾かないようにラップで包む

2 円錐形にして種を入れる

いちごの種は、横一列に並び、その上の段は種と種の間1つずつつきま

す。上にいくほど数が少なくなります。

- 1 大はスケールE、小はスケールBで計量する
乾くと種が入れにくくなるので、1個ずつ「計量→成形→種」を繰り返します。
- 2 よくこねて円錐形にし、ヘタがつくお尻をクリアファイルに押しつけて少し平らにする
- 3 お尻の中心に爪楊枝を刺す
- 4 目打ちで、お尻から1段種を入れ、その間に次の段を入れる...を繰り返し、上へ
- 5 1面できたら爪楊枝を回して、次の面へ。一周したら、間が空いたところに種を足す
- 6 スポンジに刺して一晩乾燥させる



お尻から段ごとに種を入れる

💡 間隔が空きすぎないことだけ注意

多少ずれても大丈夫。小さい方は大変ですが、ぎゅっとたくさん入れます。ホコリやゴミは、やわらかいうちにその都度取り除きます。

3 スポンジでグラデーションにする

いちごはお尻から先（トップ）に向かって少しずつ色が濃くなります。全体を塗ってから、濃い色を重ねてグラデーションを作ります。

- ① **いちごシロップ**を軽く混ぜてからOPPシートに出す
乾きやすいので、すぐフタを。使う分だけ少しずつ出します。
- ② **1回目**：スポンジにとって紙でなじませ、**全体**にトントン薄く塗る
（ヘタがつく上の部分は白いままでOK）
- ③ **2回目**：シロップに**プルシャンブルーヒュー**をほんの少し混ぜ、**トップから3分の2**くらいまで重ねる
- ④ **3回目**：さらにブルーを足した色で、トップ側に重ねる
- ⑤ 爪楊枝に刺したまま**ツヤありニス**を薄く塗り、乾いたら完成



スポンジでトントン



先にいくほど濃く

★ 赤に青を混ぜると深みが出る

ほんの少しのブルーで、赤に深みが出て本物らしくなります。「ほんのり変わったかな」くらいで十分。

⚠ シロップは水で薄められない

固くなってきたら**溶剤**を少し混ぜます。混ぜた筆はすぐに石鹸と水で洗いましょう。

4 完熟苺にする場合

- ① いちごシロップに**最初からブルーを混ぜ**、筆で全体（先まで）を**1度塗り**する



完熟（左）とグラデーション（右）

♡ 使い分けのヒント

ショートケーキのトップには**完熟**、フルーツタルトなど他のフルーツと合わせるときは、色が強すぎない**グラデーション**がおすすめです。

5 ヘタの粘土を作り、穴を埋める

- ① 樹脂粘土をスケールで計量し、**松葉色** → **ディーブグリーン**（少量） → **ローアンバー**（少量）の順に着色する
ディーブグリーンとローアンバーは爪楊枝でほんの少しずつ。
- ② 爪楊枝の穴にボンドを入れ、細長くした緑の粘土を差し込む
- ③ 全部取り切らず、**上にポッコリ少し出る**くらい残す



ヘタの色

6 5枚の葉をつける

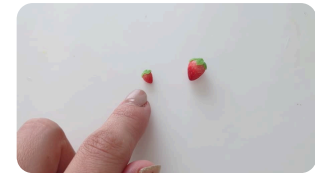
- ① 少量の緑の粘土を指先で転がして細長い葉の形にし、**3cm×3cmのクリアファイル**で潰す
- ② これを**5枚**作る（大きい苺は1枚**約6mm**、小さい苺は**約3～4mm**）
- ③ 真ん中のまわりにボンドを塗り、葉を1枚ずつ上からかぶせるようにつけ、指でなじませる
ボンドが足りなければ葉に直接つけてもOK。
- ④ 目打ちで中心のまわりに一周くぼみを入れ、上を**ぶっくり**させる
- ⑤ それぞれの葉の**中心に線**を入れる
葉が大きすぎたらハサミで少し切って調整します。



5枚の葉をつけて線を入れる

💡 アクセサリーにするなら反らせない

葉を少し反らせると本物らしくなりますが、アクセサリーに加工する場合は折れやすくなるので、いちごにぴったりつけておきます。



完成。ヘタなしで使ってもOK

できたら、ぜひ作品を見せてね♡
miniature sweets campus | 一粒苺の作り方